

## 世界ジオパークネットワークへの新規加盟推薦

2015年9月4日  
日本ジオパーク委員会

- 白山手取川ジオパークの新規加盟推薦については見送りとした。
- 白山手取川ジオパークは、今年4月に世界ジオパーク加盟推薦地域の公募に応募した。5月の書類審査、公開プレゼンテーションと質疑応答、8月の現地審査に基づき、本日の第24回日本ジオパーク委員会により推薦の見送りが決定した。

### ■ 新規世界ジオパーク加盟候補推薦見送りの理由 ■

#### 白山手取川ジオパーク

侵食・運搬・堆積の全過程を示すことができる手取川を形成した背景、すなわち同時進行する隆起・気候変化と剝削の激しい変動が国際的な価値をもつという学術的説明が不足している。一方、国際的な価値をもつ手取層群の脊椎動物化石群とそれらの激しい変動との関連性が十分に示されていない。また、ジオツーリズムを提供する仕組みが発展途上である。以上により、世界ジオパーク国内推薦については見送りとする。

ジオパークのテーマである「水の旅・石の旅」と、湧水を活用した伝統的な産業やスカイスports、俳句を組み合わせた新たなツーリズムによって、持続可能な地域を実現していく可能性が十分にある。以上により、日本ジオパークに再認定するものとする。

以上

## 日本ジオパークネットワーク新規加盟地域決定

2015年9月4日  
日本ジオパーク委員会

- 日本ジオパーク委員会は、以下の3地域を新たに日本ジオパークに認定した。  
栗駒山麓、Mine 秋吉台、三島村・鬼界カルデラ
- 4月に日本ジオパーク認定希望地域を公募したところ3地域から応募があり、5月の書類審査、プレゼンテーションと質疑応答、7、8月の現地審査に基づき、本日の第24回日本ジオパーク委員会にて上記3地域を認定した。
- これにより日本ジオパークは39地域となった。

### ■ 新たに日本ジオパークに認定された地域の特徴 ■

#### 栗駒山麓（宮城県）

奥羽脊梁山脈に栗駒火山がそびえ、3本の迫（はざま）川に育まれる地域であり、栗駒山及びその周辺の火山活動など活発な地殻変動と侵食・堆積運動により、特徴的な地形・地質を有している。海拔1,626mの栗駒山頂から海拔2mほどの低地域の中に植生、歴史、産業など極めて多彩な地域資源がある。地震で生じた地形・景観と地域の人々が災害からの復興に取り組む姿を新たな貴重な資源と位置づけ、防災・学術研究、観光などへ幅広く活用する取り組みやジオパーク理念の普及がなされてきた。それが現在のジオパーク活動の基盤となっており、活動を継続していく体制は十分に構築されている。相次ぐ地震災害を乗り越え、栗駒山麓の特徴ある地域資源を持つジオパークとして将来の発展が期待できる。

以上のことから、日本ジオパークに認定するものとする。

### **Mine 秋吉台（山口県）**

日本を代表するカルスト地形を含む地域であり、秋吉台や秋芳洞などが重要なジオサイトとなっている。また、それを住民が地域の誇るべき資源として認識している。カルスト台地の地下水系群は生物多様性に寄与するものとしてラムサール条約登録湿地ともなっている。石灰岩以外にも石炭層やスカルン鉱床群など、多様な地質資源を有し、それらについても教育や観光等に取り入れている。地域資源の保全やそれらを活用した地域づくりの手法としてジオパークに期待する住民は多く、各地でジオパークを柱にした地域づくり活動等に取り組んでいる。次世代を担う子供たちへの教育にも積極的に取り組んでおり、学校教育の教材等にもジオパークが取り入れられている。住民を主体とした地域資源の保全と観光及び教育への活用の取り組みがジオパークを柱に継続して展開されていくものと期待される。

以上のことから、日本ジオパークに認定するものとする。

### **三島村・鬼界カルデラ（鹿児島県）**

薩摩半島の南端から約 50 km 南に位置する、総人口 350 人足らずの 3 島（竹島、黒島、硫黄島）と鬼界カルデラの海域がエリアである。このカルデラでは、縄文時代の 7300 年前に起きた破局噴火に伴って日本列島の広い範囲に火山灰をもたらした。この噴火とその後の火山活動がつくった地形・地質などの自然と、そこに暮らす人との関わりを主な見どころとするジオパークである。

平家物語にゆかりのある史跡や硫黄鉱山跡などの産業遺産、天然記念物に指定されている植物群や島を覆い尽くす大名竹など、独自の見どころがある。3 つの島を一日で周遊する「ワンデージオクルーズ」や、天然の硫黄を用いた花火作りなどのジオツアーがあるなど、多くの村民がかかわった活動が期待できる。

以上のことから、日本ジオパークに認定するものとする。

以上